

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化・スポーツ振興事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	根本 政廣				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化・スポーツ等の大会等へ出場又は優秀な成績を収めた市民及び団体	意図	文化・スポーツの振興・奨励
事業内容	文化・スポーツの大会への出場又は、優秀な成績を収めた市民、団体からの申請により、審査会の意見を聞いて、教育委員会が奨励金の交付の可否を決定し、奨励金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化				

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	奨励金交付件数	8	20	13	件	→→	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,610,300	1,953,760	2,325,360				
事業費(b)(円)		100,000	410,000	150,000				
うち一般財源		100,000	410,000	150,000				
職員給与費(c)(円)		1,510,300	1,543,760	2,175,360				
人役・職員(人)		0.22	0.23	0.33				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	交付対象の精査が必要。	③取組における課題(Check)	競技人口など、大会の詳しい内容のわかる資料が必要。
②H30に実施した取組(Do)	交付対象を精査しながら審査した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	担当課及び推薦者に、大会の詳しい内容の分かる資料を提出してもらう。